

2024年度(2025年3月期)第2四半期決算 主な質問と回答

- Q. 上期受注高が期初予想を大きく上振れた理由は。
- A. 国内ではEV・バッテリー関連の大型案件の前倒し受注が発生した。海外では北米や中国の受注が堅調に推移し、欧州では環境規制に伴うかけこみ受注があった。また、為替変動によるプラスの影響もあった。
- Q. 上期売上高が期初予想通りとなったものの、営業利益が期初予想を上振れた理由は。
- A. 受注高は期初予想を上振れたが、長納期案件が多かったことから売上高は期初予想通りとなった。利益面については、販管費は増加したが、北米の値上げ効果や中国の製品ミックスの変化、国内生産能力増強による生産性向上もあり、営業利益は期初予想を上回った。
- Q. 受注高が好調に推移するなか、通期の売上高・営業利益予想を据え置いた理由は。
- A. 受注高については、上期の勢いは落ち着くものの好調を維持すると見ており、上方修正を行った。売上高・営業利益は、長納期案件の増加や中国・欧州の減速をふまえ、上期決算においては据え置くこととした。この予想数値に満足することなく、さらなる収益拡大を目指していく。
- Q. 下期の受注高予想が上期実績を下回る理由は。
- A. 上期に前倒し受注が発生したため。中国・欧州の減速を懸念しているが、国内のEV・バッテリー市場を中心に高水準を維持すると見ている。
- Q. 国内の生産能力増強の進捗は。
- A. 国内の生産能力増強に向けて、要員の増加、生産スペースの拡大、外注活用を進めている。一部、設計要員の確保に時間を要しているが、計画通り生産能力を拡大できている。
- Q. 受託試験サービス「あいち次世代モビリティ・テストラボ」の手応えは。
- A. 2025年2月、愛知県常滑市に開設予定の「あいちバッテリー安全認証センター」の予約受付を10月に開始し、問い合わせを多数いただいている。既存の豊田試験所の機能拡張とあわせて、中日本エリアでの受託試験サービスを強化し、拡大する受託試験需要に応じていく。

本資料は、決算に関する主な質疑応答の要旨を記載したものです。

本資料に含まれる将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに当社が計画・予測したものであり、実際の業績などは今後の様々な条件・要素により異なる場合があります。